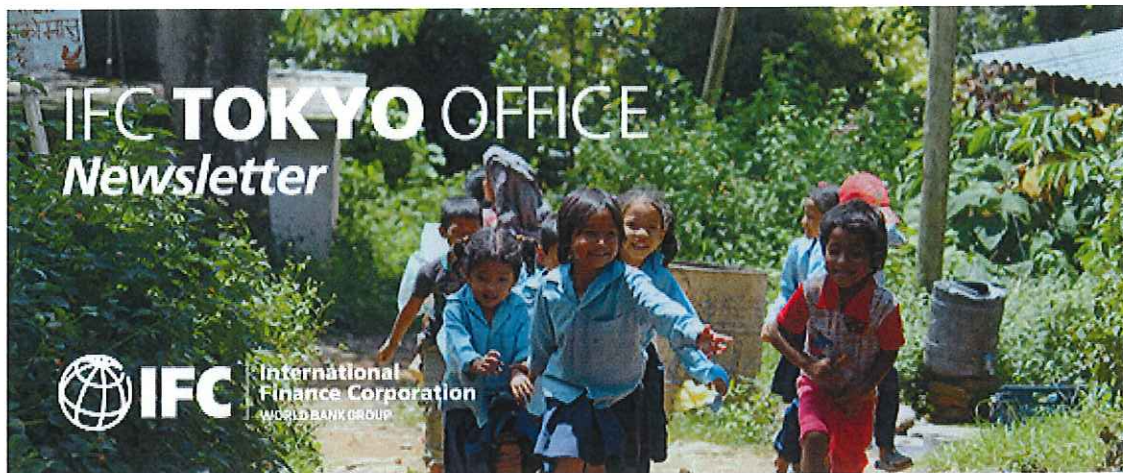


[Subscribe](#)[Past Issues](#)[Translate ▼](#)

本メールリストはIFCのお客様に送付しております。

[View this email in your browser](#)



IFCの大切なお客様へ

やや遅れましたが、皆さま、明けましておめでとうございます。本年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。

さて、本年より、新しい試みと致しまして、弊社の大事なお客様に、ニューズレターをお届けすることに致しました。

グローバルな世界が目まぐるしく変転しつつある中、弊社がこれにどのように対応していこうとしているのか、そしてそれにより皆様のビジネスをどのようにお手伝いできるのかなどについて、ヒントとなるような情報をお届けできれば、という思いを込めて始めました。

第1号は、まずは東京事務所の紹介です。技術力、資金力、人材力という、日本の誇るアセットを世界の隅々にまで届け、途上国の開発につなげていく、というのが弊事務所のミッションです。これも皆様のご協力あってのことであり、改めて深く感謝申し上げます。詳しくは、弊事務所の[ウェブサイト](#)をご覧ください。なお、弊事務所スタッフに、お気軽にお声をかけて頂くことができますよう、スタッフの担当と簡単なプロフィールも併せて紹介させて頂くことにしました。

もう一つ、昨年末に開催されました、弊社創設60周年関連イベントについてです。昨年就任した弊社 Philippe Le Huerou 長官が来日し、皆様にこれまでのご厚情に感謝させて頂くために、11月15日にレセプションを開催させて頂きました。全体で300名を超えるお客様にご来臨賜りました。どうも有難うございました。その際の模様、さらに長官来日時に収録されました対談の模様などをビデオにまとめてみました。[こちら](#)からご覧頂ければ幸いです。なお、来日時の長官のメディア・インタビューなどを基にした新聞報道も併せて掲載させて頂きました。(IFCウェブサイト)。また、2月8日にIFC長官がIFC3.0「[市場を切り拓くIFCの挑戦](#)」について講演しております。弊社の今後の事業活動の新しい方向性を感じて頂ければ、と存じます。

[Subscribe](#)[Past Issues](#)

IFCとは？

国際金融公社（IFC）は、途上国の経済成長・繁栄の共有の促進・極度の貧困の撲滅を目指す世界銀行グループの一員として、途上国の民間セクターの開発を幅広いセクターにおいて実施。民間セクターに特化した最大の国際開発機関として、約世界100カ国にオフィスを設置。地場のネットワークを強化するため、3,700名を越える職員の半数以上は途上国で勤務。

Website: www.ifc.org/japan

IFC東京事務所の役割とは？

日本はIFC設立当初（1956年）からの加盟国で、米国に次ぐ世界第2位の出資比率を持つ株主として、IFCの運営に関与。東京事務所は、日本の皆様とIFCが連携を深めるための窓口として1988年4月に開設され、主に1) 日本企業の途上国におけるビジネス展開を支援、2) 日本の金融機関や投資家に運用機会を提供、3) 日本政府との連携強化、4) 日本人職員の採用支援の分野で業務を展開。

Website: www.ifc.org/japan

ニューズレタートラックナンバー

No1

IFC東京事務所コンタクト先

以下メンバーまでお気軽にお問合せください。

代表番号：03-3597-6657

所長：黒澤利武（tkurosawa@ifc.org）

投融资担当（農業・製造業 / 金融業 / テレコムセクター）：陳野浩司（hjinno@ifc.org）

投融资担当（インフラ）：加納裕二（ykano@ifc.org）

投融资担当（その他全般）：中井咲希（snakai@ifc.org）

財務担当：塩澤健一郎（kshiozawa@ifc.org）

IFC アセットマネジメント社（シンガポール駐在）：寺見興生（kterami@ifc.org）

ニューズレターに関するご要望（ifctokyonews@ifc.org）

Copyright © 2017 IFC Tokyo, All rights reserved.

[Unsubscribe](#) or [subscribe](#) from this list